

桜守 (広報誌第 3 号)

(財) 吉野山 保勝会

ご挨拶「吉野山の桜公園の現状」 (財) 吉野山保勝会 事業部長 水本 和幸



「吉野・大峯」がユネスコ世界遺産として登録されて、一年が経ちました。吉野山のシンボルである「桜」は、世界遺産の構成資産として含まれており、吉野山の先人達が守り続けた桜を未来の世代に引き継いでゆくべき宝物であります。

平成 10 年の台風 7 号により、桜公園は多大な打撃を受け、その総数約 1,000 本 (倒木 480 本、枝折れ等 500 本) の被害に遭いました。翌年 11 年度より 3 ヶ年計画で、桜被害対策事業として、関係機関 (県・町)、保勝会とが復旧作業を行いました。又、平成 14 年度より 3 ヶ年計画で、桜樹林拡大事業という施策に取り組み、公園地で桜植栽可能な場所を再開発し、桜公園の拡大 (植栽数 1,000 本) の作業を行いました。

上記事業については奈良県、吉野町、地元の皆様のご支援をいただき、今の桜公園があります。6 年間の事業費用は約 1 億円 (桜植栽総数 2,000 本) で実施されましたが、本年度 (17 年) より、管理内容が変わりました。県の管理公園地 (ほおずき尾・七曲り・相叶・塔の尾・峯的場 等) 約 20 ha は、県職員が維持管理作業をする計画されています。保勝会公園地、約 30 ha については本会と地元で管理しなくてはなりません。関係機関よりの事業補助がない状態の中、今までと同様の公園管理を維持することは難しい状況になりますが、今までに植栽された桜が 10 年、20 年先にきれいな花を見せてくれる様に保勝会理事全員が、行政機関への要望、作業方法、費用の捻出に努力して参りますので、自治会員、地元観光業者、賛助会員の皆様には尚一層のご支援、ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

下千本桜山を拡大 (平成 17 年)



(下千本桜山拡大 苗木植え)



(杉山を伐採し桜の苗木を植えた)

ロープウェイ下の、寄付していただいた杉山を伐採し、桜の苗木を植えて、下千本桜山の拡大を行いました。今回は約 85 本の桜を植えました。

(左写真) 一本一本 丁寧に添え木を打ち付けて苗木を保護します。



桜展示園 (上千本) 付近のウメノキゴケを除去 (平成 17 年 10 月)

桜展示園 (上千本) 付近の桜に付着した、長年の苔を除去しました。桜を傷つけず、適度な水圧の放水により、見る見る苔が取れていきます。(右写真) 苔がびっしりと張り付いた状態から (左写真) から、桜本来の木肌へ (中写真)



(ウメノキゴケ除去前)



(ウメノキゴケ除去後)



(ウメノキゴケ除去作業)

保勝会事務所付近の草刈り (右写真)

吉野山はどうしても傾斜があるため、どのような作業をするにしても急な斜面での作業のため、いつも危険を伴います。

◇◇◇ 賛助会会員募集中 ◇◇◇

財団法人 吉野山保勝会 〒 639-3115 奈良県吉野郡吉野町吉野山 2430
TEL:07463-2-1877 FAX:07463-2-1217 E-mail hoshokai@iris.ocn.ne.jp
URL: <http://www.yoshino.ne.jp/yoshinoyama/>



(保勝会事務所付近の草刈り風景)